

週間漁海況情報 2023年第13号

令和5年3月28日発行

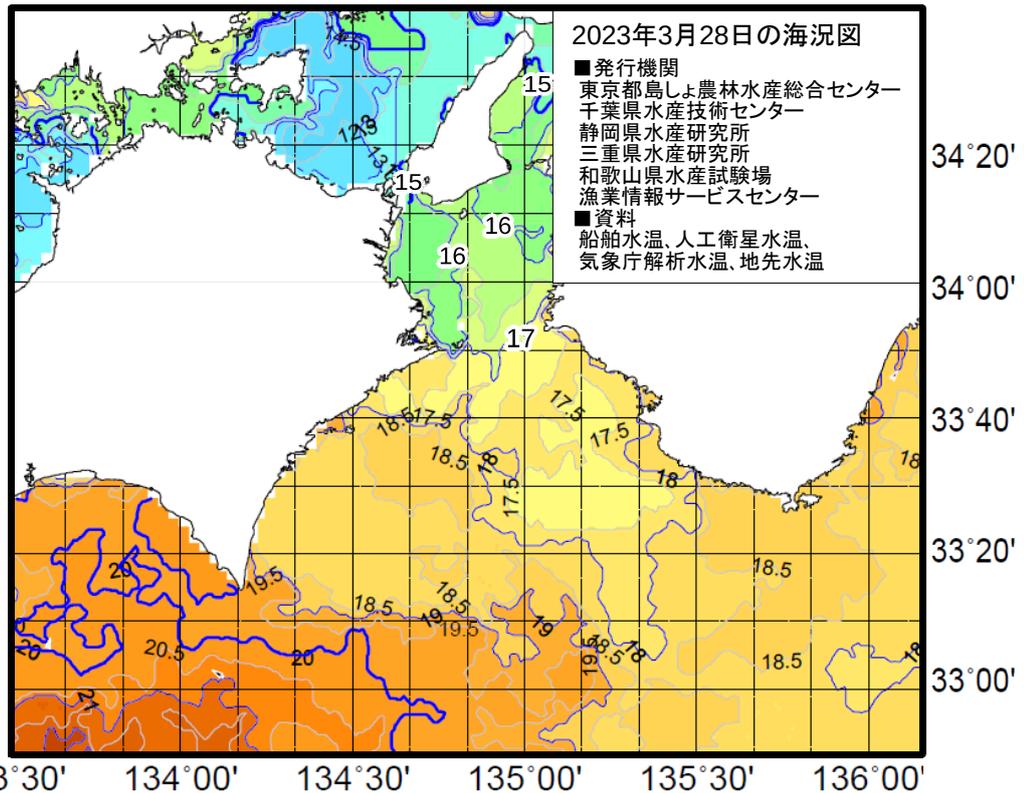
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖72マイル、潮岬沖144マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」している。室戸岬から離岸しているが、土佐湾の南には時計回りの循環があり、そこから室戸岬を越えて暖水波及が見られる。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が12～14℃台、紀伊水道が14～17℃台、海部沿岸が17～18℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

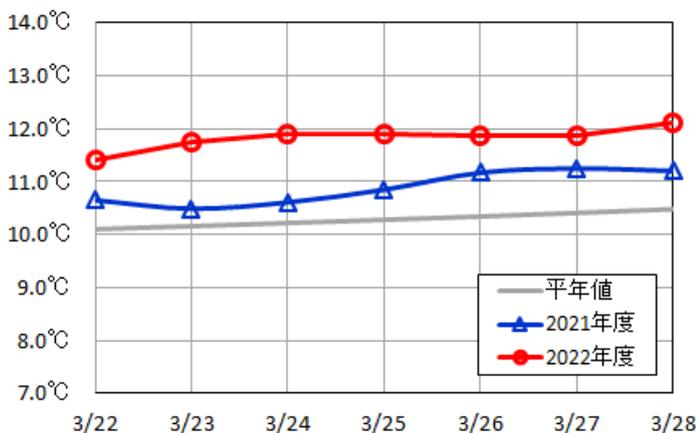
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

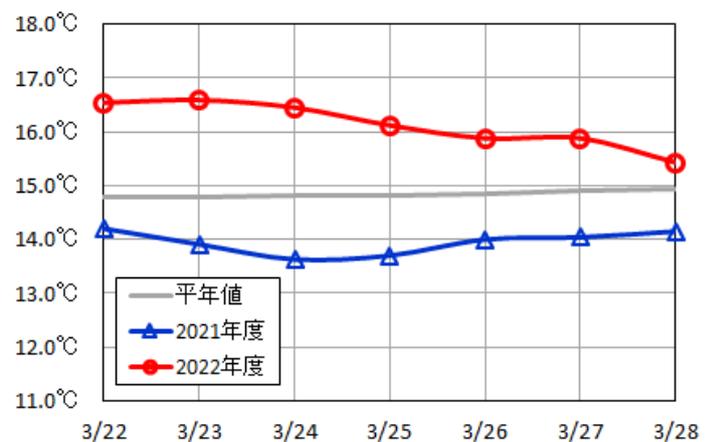
2. 地先水温(3月22日～3月28日)

鳴門地区の水温は、11.4～12.1℃で「やや高め」から「高め」、日和佐地区は15.4～16.5℃で「高め」から「やや高め」・「平年並み」で推移。鳴門と日和佐地区の水温差は3.3～5.1℃で、先週より若干狭まった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(3月29日～4月4日)

黒潮は、室戸岬で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「高め」、日和佐地区で「やや高め」に推移する見込み。

漁況 (3月20日～3月26日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

釣りでは、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。
 延縄では、ブリがめじろ級主体に1.8ト、アカムツが大きく増えて0.2ト水揚げされた。
 建網では、メジナが減って0.3ト、カワハギが大主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが減ってめじろ級主体に0.8ト水揚げされた。
 底びき網では、マダイが大きく増えて0.8ト、クロダイが大きく増えて0.7ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、ブリが0.4ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが増えて0.2ト水揚げされた。
 建網では、ブリが増えて大主体に0.6ト、メジナが増えて0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、カタクチイワシが増えて1.2ト、いわし類主体が増えて0.2ト水揚げされた。
 大型定置網では、ブリが大きく増えて15ト、マサバが0.3ト、マアジが大きく減って0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.20 トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	釣り	10	ブリ	220	22	めじろ級主体	↗↗
	延縄	42	ブリ	1,833	44	めじろ級主体	→
		10	アカムツ	203	20		↗↗
	建網	45	メジナ	332	7		↘
		46	カワハギ	271	6	大主体	→
	小型定置網	11	ブリ	838	76	めじろ級主体	↘
	底びき網	16	マダイ	778	49		↗↗
16		クロダイ	688	43		↗↗	
海部沿岸	釣り	20	ブリ	436	22		→
	延縄	3	ハモ	200	67		↗
	建網	8	ブリ	616	77	大主体	↗
		40	メジナ	251	6		↗
	小型定置網	9	カタクチイワシ	1,203	134		↗
		3	いわし類主体	224	75		↗
	大型定置網	4	ブリ	14,965	3,741		↗↗
		4	マサバ	306	76		→
4		マアジ	227	57		↘↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘